

## くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.37

開催地：人吉市東間・大塚校区

平成 19 年 10 月 11 日（木）、人吉市東間・大塚校区（会場：人吉市東間コミュニティセンター）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

市内	22 名
市外	0 名

※参加者数は記名者数

### 住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

#### 【河川整備基本方針の説明について】

・小委員会で県知事が不満をあらわにし「県民感情として理解できるかよく分からない」と発言されたが、県民の安全対策の議論を感情により判断してほしくない。感情論でなく科学的かつ合理的に判断願いたい。

#### 【球磨川の治水対策について】

- ・七地町では、農地区画整理の工事と並行して、80 年に 1 度の洪水に対応できるようにと河岸工事を始めた。区画整理工事は平成 2 年に完成したが、建設省の方は予算が付き次第、工事は完結するというのでそのままになっている。水害対策に勝るものはないとして、所によっては 50m 以上の土地を割愛し、提供したが、10 年後に始めた近隣の工事は終了したが、私たちの工事はいっこうに出来ない。どうなっているのか。
- ・七地町の河川改修に関して土地を提供するにあたり、①河岸は 2 段階の傾斜でもって川に接し、川岸はコンクリートではなく、施設により魚の住みやすい岸とすること、②農地整備をする水田が水浸しないように、「戦の瀬」の浚渫を実施することの 2 つの条件を付した。
- ・七地町の農地区画整理工事もあと 3 年で完済するので、総合事業として河岸改修も一連で実施して欲しい。
- ・昨日の衆議院予算委員会の民主党の前原議員の質問について、(市房ダムに関する部分で) 疑問に感じた。平成 12 年に前原議員らによる衆議院の調査により昭和 40 年水害の検証がなされており、理論的に昭和 40 年 7 月水害は、市房ダムの放流が原因ではないと報告されている。それなのになぜ、いまだに昭和 40 年 7 月水害の原因が市房ダムではないかとの議論がなされるのか。
- ・ダムによる治水対策とダム以外の案（河床掘削+引き提）のコスト比較シュミレーションは現時点であるのか。

#### 【球磨川の環境について】

・七地町の河川改修を実施する際には、JR の鉄橋上流 500m の所に市内一つしかない砂浜地帯があるので、子供達が遊んだり勉強できるようスロープを造り小公園を造って欲しい。また、「戦の瀬」に広い広場を造って欲しい。

#### 【その他】

- ・最近、球磨郡に直下断層帯があることが分かった。いつ M8 の地震があるか分からない。地震で陸の孤島になったときに備えて、災害復旧、物資輸送のためのヘリコプターが 3 機同時離着陸できる場所を造って欲しい。
- ・球磨川と山田川の合流点付近に管理用道路があるが、大規模火災時に消防ポンプを川沿いに下るす際に駐車されている車が非常に支障となることから、駐車しないようにマーキング等の措置をお願いしたい。山田川沿いにも同様な箇所がある。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

